



深澤理念を次世代に

資料館は「命の学習塾」

最近深澤晟雄資料館を訪ねる若い世代が目立ちます。沢内病院で研修する研修医や医大生のほか、町内外の小中高校生の「命の学習塾」ともなっています。上の写真は昨年5月に沢内病院へ「ふれあい看護体験」で訪問した専大北上高

最近深澤晟雄資料館を訪ねる若い世代が目立ちます。沢内病院で研修する研修医や医大生のほか、町内外の小中高校生の「命の学習塾」ともなっています。上の写真は昨年5月に沢内病院へ「ふれあい看護体験」で訪問した専大北上高

二〇一四年 新春

あけまして
おめでとう
今年も「深澤晟雄の会」に
皆様の温かいご支援とご指導を
よろしくお願い申し上げます



特定非営利活動法人
深澤晟雄の会理事長 太田 祖電
ほか役員・事務局一同

資料館の 感想ノートから

沢内は私の原点

地域医療で一人ひとりが大切にされる世の中になつたらいいと思ひ、福祉の仕事をしています。そんな私の原点の一つが沢内村です。来て良かったです。ありがとうございます。

(茨城県牛久市・松橋様)

溢れる涙と感動

ずっと以前から沢内村を訪ねたいと思っていましたので、7名で茅ヶ崎からお伺いできたこと最高の喜び

京都で「いのちの作法」を観て感動し、ここに来て改めて深澤村長と村の皆さんのとりくみに感動しました。ありがとうございます。

(京都府・中村様)

おこたわり

都合により本紙2月号と3月号はお休みさせていただきます。



胸像前で茅ヶ崎市の皆さん (10月28日)

新春に思うこと

村長 深澤 晟雄



全国初の乳児死亡ゼロ達成は昭和37年である。その年の門出に深澤村長は「行政と住民の一体態勢」を広報さわうちで呼びかけた。それは自治の精神をも育みながら、乳児死亡ゼロに結実して行くのである。半世紀を経てなお輝く新年の言葉として、その全文を掲載する。(中見出しは本紙編集者)

健康で豊かな 生活めざして

来る年も来る年も、同じことを考えながら今また三十七年の春を迎えました。住民の皆様、ご機嫌いかがでしょうか。新春のご挨拶を申し上げます。

「健康で豊かで文化的な生活」これを切なる願いとして皆様も私も共に努力をして参りました。そしてその悲願の道はいかにけわしいものであるかを知らずすぎるほど知りました。病魔にうめき苦しむ人々、天寿に背いて去るはかない人々、景気不景気には全く無縁な貧しい人々、私達の仲間の不幸せはいつまでもつきまとっております。

住民の健康確保の為に力んでみても、土地改良や畜産をいかに叫んでみても、雪の征服や僻地解消にいかにも熱を上げてみても、その成果の微々たることに私は暗然とせざるを得ません。政治のむずかしさ、私の力の足らなさをしみじみと感じざるを得ません。

るを得ません。

しかし、私はこの悲願を断念するわけには参りません。健康で豊かであることが幸せの絶対要件である限り、私はこの道を断固として歩み続けることでしょう。だから従前にも増して私を叱り私を励まして下さるであろう皆様をご期待申し上げます。

一体態勢こそ 幸せへの近道

それこそ私の政治理念でありますところの「一体態勢」だと存じます。一体態勢とは全体主義にみられるように指導者の考えに無批判に一体になることではありません。目的手段が概ね住民に共通のものであり、だからこそ、その達成が住民各自の責任に繋がる共通のものである場合に真に民主的な一体態勢と申せましょう。

民主主義の特徴は自己責任による自由だと申してもいいでしょう。もしも健康や土地改良が住民の幸せの基礎的条件だとするならば、それは一人ひとり俺がやら

ねばならないんだという責任の自覚こそ必要であり、その責任の集計が即ち一体態勢ということになりましょう。

放任しては立ち上がり得ない貧しい方を救い上げることが正しいとするなら、住民の一人ひとりがそのことに責任の自覚を持つことが一体態勢だと申してもいいでしょう。政治家一人の力は弱い。だから住民の一体態勢を築くために有益なヒントと刺激を与え、その強まった態勢をバックとして強力な施策を強力に押し進めることが政治家の任務ではないでしょうか。このようなことを考えながら私は指導者ヅラをした号令者でなしに一体態勢を狂信的に主張する一住民たる村長として私の重責を果たしたいと念じております。

「幸せの近道は一体態勢だ。そしてそれは一人ひとりの責任の自覚だ」と私の胸に再確信させながら今年もがんばりたいと思います。どうか私を叱つて下さい。私を励まして下さい。心を込めて結びの言葉といたします。